

# 北海道開発局におけるTEC-FORCEの活動状況

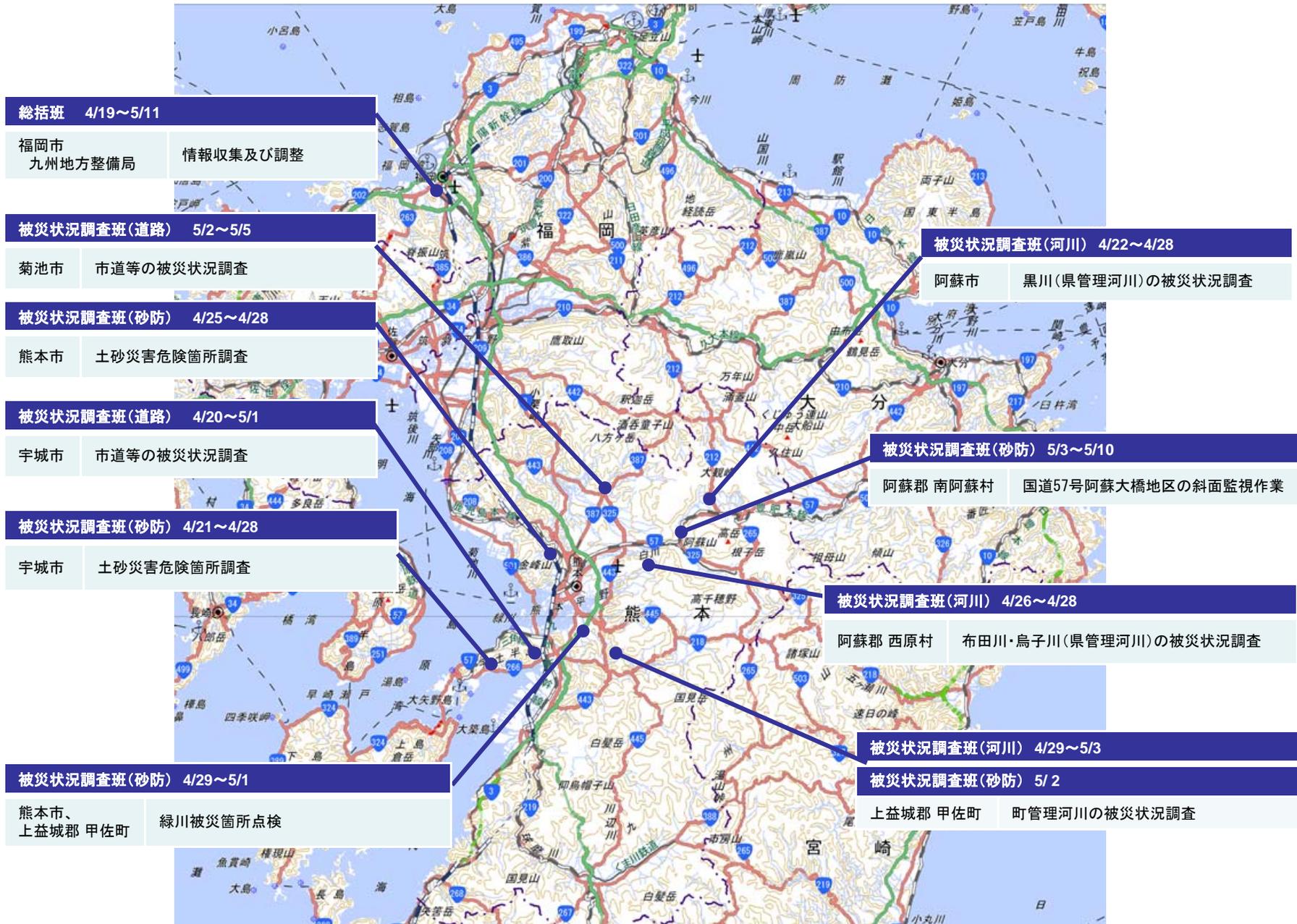
北海道開発局は平成28年熊本地震による災害の応急対策を支援するため、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を被災地に派遣しました。

派遣した隊員は、4月19日から5月11日までの活動期間中、126人(人・日延べ572人)となり、各地方整備局の隊員とともに土砂災害危険箇所の調査、道路や河川の被災状況調査など、自治体のみでの対応では長期間を要する作業を支援するほか、九州地方整備局管轄の被災箇所の調査や応急復旧作業の応援を実施しました。

| 班名<br>派遣期間<br>班・人数 計                       | 本局及び開発建設部の隊員内訳  | 主な活動内容   |
|--|---|--|
| <b>総括班</b><br>4/19~5/11<br>5班・22人          | 北海道開発局 5班22人<br>(内 札幌 2人 旭川 1人)   | 九州地方整備局 TEC-FORCE総合司令部(福岡県福岡市)において被災状況調査各班への指示、情報収集及び調整等の活動  |
| <b>被災状況調査班(道路)</b><br>4/19~5/6<br>8班・40人   | 札幌 2班10人 函館 1班 5人<br>小樽 1班 5人 旭川 1班 5人<br>室蘭 1班 5人 釧路 1班 5人<br>帯広 1班 5人 | 【市道等の被災状況調査】<br>○宇城市(4/20~5/1) 5/1 調査結果を市に報告<br>○菊池市(5/2~5/5) 5/5 調査結果を市に報告  |
| <b>被災状況調査班(砂防)</b><br>4/20~5/11<br>10班・40人 | 札幌 3班12人 旭川 2班 8人<br>室蘭 4班16人 (内 小樽 1人)<br>帯広 1班 4人                     | 【土砂災害危険箇所の調査】<br>○宇城市(4/21~4/28) 4/28 調査結果を熊本県及び市に報告<br>○熊本市(4/25~4/28) 4/28 調査結果を熊本県及び市に報告<br>【国管理河川の被災箇所点検】<br>九州地方整備局の応援<br>○緑川水系緑川(熊本市、上益城郡 甲佐町)(4/29~5/1)<br>【町管理河川の被災状況調査】<br>河川班の応援<br>○上益城郡甲佐町(5/2)<br>【国道57号阿蘇大橋地区の土砂崩壊現場における斜面監視作業】<br>九州地方整備局の応急復旧作業に係る応援(5/3~5/10) |
| <b>被災状況調査班(河川)</b><br>4/21~5/4<br>6班・24人   | 札幌 3班12人 旭川 1班 4人<br>釧路 1班 4人 帯広 1班 4人                                  | 【県管理河川の被災状況調査】<br>○阿蘇市 黒川(4/22~4/28) 4/28 調査結果を熊本県に報告<br>○阿蘇郡西原村 布田川・烏子川(4/26~4/28) 4/28 調査結果を熊本県に報告<br>【町管理河川の被災状況調査】<br>○上益城郡甲佐町(4/29~5/3) 5/3 調査結果を町に報告   |

計 29班126人

# 北海道開発局におけるTEC-FORCEの活動状況



# 総括班の活動

総括班は、4月19日から先遣班として各班に先駆け派遣。以降、総括班として、各班の活動が終了するまで、九州地方整備局災害対策本部内に設置されたTEC-FORCE総合司令部のメンバーとして情報収集を行いながら、各地方整備局から派遣された隊員とともに被災状況調査班各班の派遣とその活動場所の調整などを行いました。



本田北海道開発局長から派遣命令を受ける吉田隊長(第1陣:先遣班長)



九州地方整備局緊急災害対策調整官から現地の説明を受ける総括班(4/19)



国土交通省 山本副大臣、宮内政務官、江島政務官が TEC-FORCE隊員を激励



各地方整備局による隊長会議の状況(5/1)



4月21日には全地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局から派遣された隊員が、九州に集結

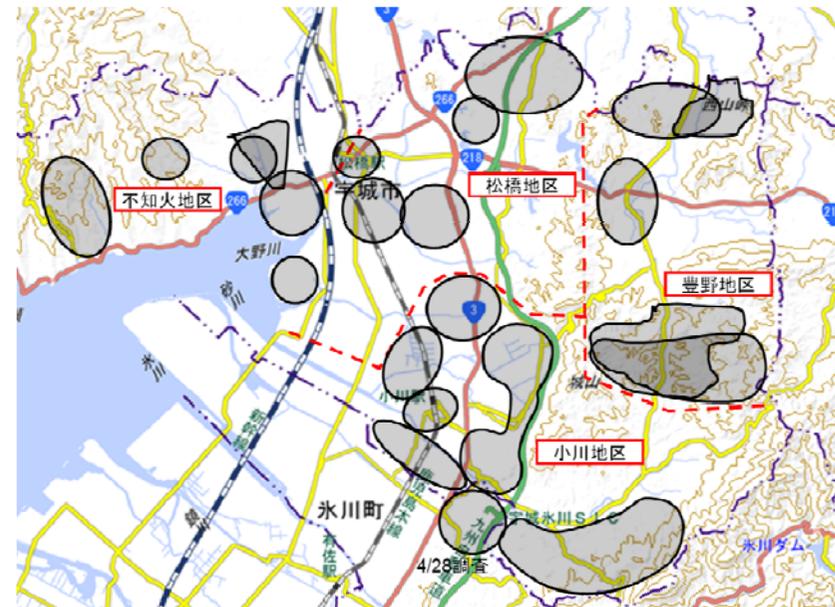


九州地方整備局長から支援への感謝を受ける総括班(第5陣)

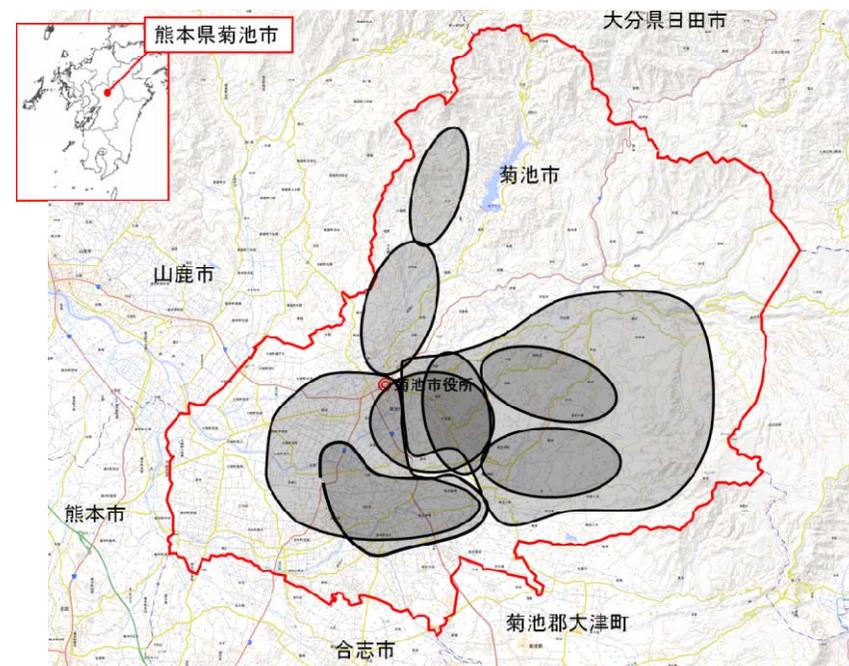
# 被災状況調査班(道路)の活動

宇城(うき)市からの要請を受け、市道等の被災状況調査を九州地方整備局と分担して実施。北海道開発局は4月20日から主に市内の松橋(まつばせ)地区、豊野(とよの)地区、小川(おがわ)地区、不知火(しらぬい)地区の調査を担当し、5月1日に調査結果を報告しました。

また、5月2日からは菊池市からの要請により市道の橋梁調査を実施。5月6日に担当区域の調査を完了し、九州地方整備局に引き継ぎました。



宇城市長へ調査結果を報告する道路班



# 被災状況調査班(道路)の活動



宇城市豊野地区 山ノ神・新開線の詳細調査(4/25)



宇城市小川地区クラック箇所の調査(4/22)



宇城市松橋地区での地先の方からの情報収集状況(4/22)



菊池市内の橋梁調査状況  
(左:5/5 右:5/3)



菊池市建設部長に調査結果を報告する道路班

# 被災状況調査班(砂防)の活動

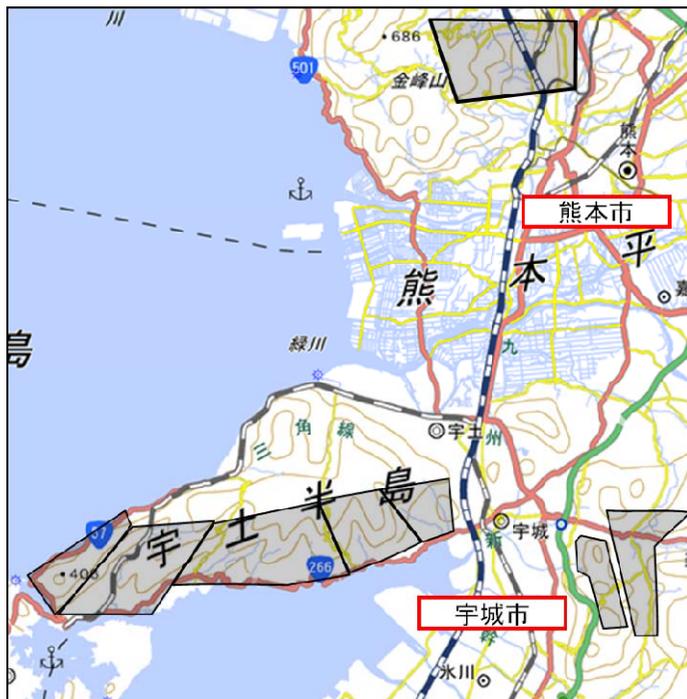
熊本県の要請を受け、土砂災害危険箇所の調査を実施。北海道開発局は4月21日から宇城市、4月25日から熊本市の調査を担当し、4月28日に県及び両市に調査結果を報告しました。

また、九州地方整備局の応援として、4月29日から5月2日まで緑川(みどりかわ)水系緑川の国直轄管理区間において、応急対策を実施した被災箇所の点検を実施。5月1日は甲佐町における町管理河川の被災状況調査について、河川班を補助しました。

5月3日からは、余震や降雨が続く国道57号阿蘇大橋地区の応急復旧対策実施現場において、土砂流出等による二次災害防止のため、監視活動を行いました。



河川・砂防班 熊本県知事へ調査結果を報告(4/28)



# 被災状況調査班(砂防)の活動



砂防班 宇城市長へ調査結果を報告(4/28)



熊本市長へ調査結果を報告(4/28)



熊本市内 急傾斜の現地調査(4/25)

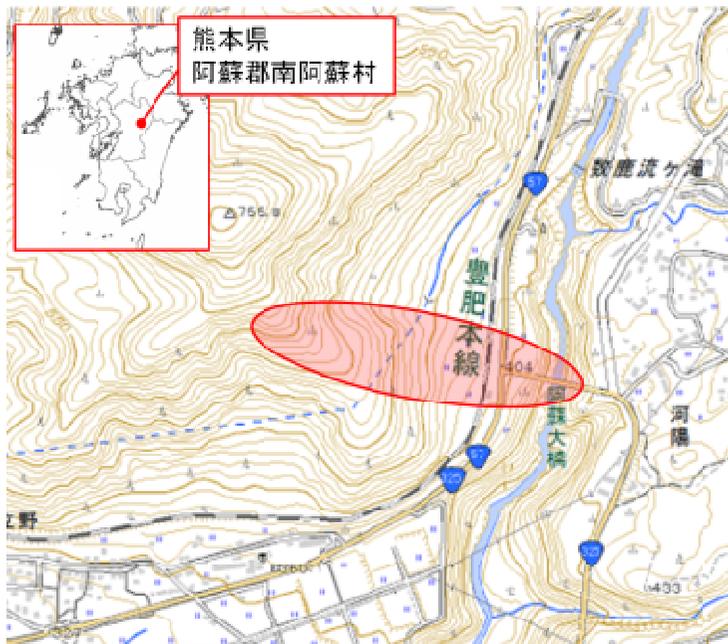


宇城市内危険箇所調査(4/26)



甲佐町 被害状況調査(5/2)

# 被災状況調査班(砂防)の活動



阿蘇大橋地区の土砂崩壊現場（5月1日撮影）



崩落法面の監視を行う砂防班(5/6)



阿蘇大橋土砂崩れ現場の調査状況

# 被災状況調査班(河川)の活動

熊本県の要請を受け、4月22日から県管理河川の白川水系黒川、4月26日から同水系布田川(ふたがわ)、烏子川(とりこがわ)において被災状況の調査を実施。4月28日に阿蘇地域振興局へ調査結果を報告しました。

また、上益城郡甲佐町(かみましきぐんこうさまち)からの要請を受け、4月29日から町管理河川の被災状況調査を実施。5月3日に甲佐町へ調査結果を報告しました。



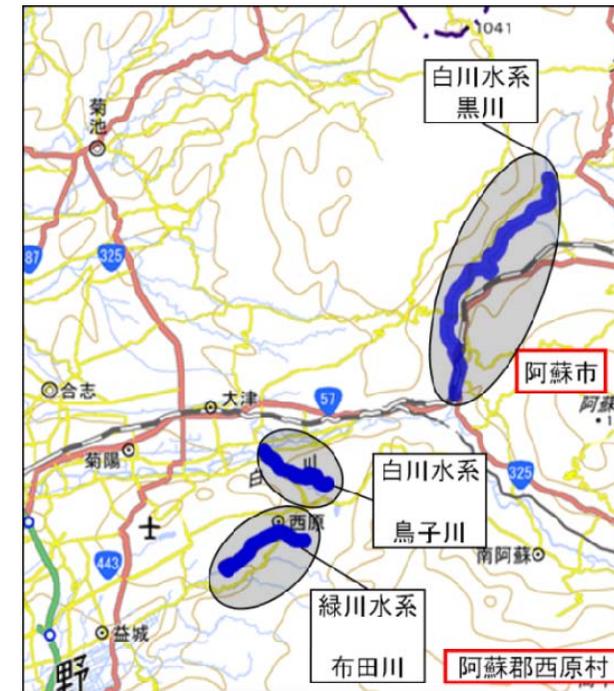
調査結果を報告した河川班と阿蘇地域振興局職員(4/28)



甲佐町副町長へ調査結果報告書を提出 (5/3)



甲佐町にて地先の方から情報収集(5/2)



# 被災状況調査班(河川)の活動



黒川の被災状況調査(4/23)



西原村 鳥子川現地調査(4/25)



甲佐町の被災状況調査の様子(5/2)



阿蘇地域振興局にて打合せする河川班(5/2)



甲佐町の河川被害調査(4/30)